

# お正月風景

宮司 前原利雄

明けまして

おめでとうございます

皇紀二六八三年

令和五年癸卯

輝かしき新年を寿ぎ奉り、  
箭弓稲荷神社のご社頭より、  
氏子崇敬者ご尊家ご一同様の  
弥栄とご健勝を祈念申し上げます。

▼お正月を迎えましたが、国  
は引き続き感染拡大防止に努  
めつつも、行動制限の緩和な  
ど社会経済活動に重きを置い  
たことに伴い、ご社頭も徐々  
にご参拝者が増え以前の賑わ  
いを取り戻しつつあります。

▼例年、十二月に入りますと  
職員関係者それぞれに、境内  
握舎(テント)などの設置や、  
諸飾り付けなど迎春の準備に  
余念なく取り掛かります。な  
かでも社殿向拝のしめ縄や参  
集殿玄関の門松も新しく付け  
替えられます。毎年しめ縄は  
当社職方、門松などは(社)埼・  
鳶・連、比企鳶土木工業会並

びに比企鳶消防記念会により  
ご奉納いただいております。  
特にしめ縄は神様のご神域を  
表す清浄な場所、結界として、  
そのほか神祭りに使用する薦  
や円座も欠くことのできない  
ものであります。

▼これらには、多くの藁(わら)  
を用います。現代生活におい  
てはその姿をほぼ消し去った  
かのようにみえますが、当社々  
報前号にて、「**豊葦原瑞穂の国**」  
と紹介しましたように、我が  
国は稲作農耕の国であります。  
古来より年の初めや春の神祭  
りには、ご社前にお米をはじ  
め餅や酒などお米で作られた  
ものを中心にお供えて、日々  
のご加護を神に感謝し、五穀  
豊穰や人々の暮らしの平安を  
祈り、やがて秋には収穫の終  
えたのち感謝のお祭りを盛大  
に執り行います。

▼藁(わら)は、ご承知の通  
り稲からお米を収穫したのち  
に残るものですが、先のはしめ  
縄や正月のしめ飾りのみなら

ず、縄、筵などの敷物、米俵、  
草鞋、肥料など我が国の大切  
な生活資材の一つで、伝統的  
な物質文化として「藁の文化」  
とも言えるのではないでしょ  
うか。

▼今年のお正月も、真新しい  
しめ縄と門松が凛と清々しく、  
ご参拝の皆様を迎えてくれて  
おります。藁の美しさ、温か  
さを通して、日本民族の「心  
の原風景」を感じ取っていた  
だければ幸いです。

▼令和五年も、いよいよ新春  
の元旦祭から神祭りが始まり  
ます。前号の繰り返しになり  
ますが、一年間、様々な神祭  
りを通して、遠く神代の時代  
から、悠久の麗しい文化・伝  
統を受け継いできた我が国が、  
これからも「**豊葦原瑞穂の国**」  
であり続けるように、さらに  
加えて「**藁の文化**」をも大切に、  
日々祈り続けて参ります。皆  
様のご参拝を関係者一同心よ  
りお待ち申し上げます。



## 謹賀新年

箭弓稲荷神社

宮司

前原利雄

責任役員総代

嶋本正雄

同

江野邦夫

同

野口茂

総代顧問一同

職員一同